



# PTA新聞 おきなわ

発行  
(一社) 沖縄県PTA連合会

〒900-0002  
那覇市曙2-26-27  
TEL (098) 867-3582  
FAX (098) 867-0309

責任者 石川 謙

初日の出 (中城村南上原) 撮影者: 末吉建作



新年のご挨拶  
沖縄県PTA連合会 石川 謙

新年もあけまして、す  
ぐの1月14日に、第59回  
沖縄県PTA研究大会国  
頭大会が開催された  
が、1750名余の会員  
が参加して頂き、無事  
に成功裏に終えることが  
できましたことに感謝  
しております。

私が会長として就任  
してから、2年目の後半  
にさしかかりました。見  
えるPTA活動を目標に  
会員により良い情報を  
提供し、日々、活動に  
役立てよう努めており  
ますが、まだまだ不十分  
なところ

があります。今年はさら  
なる改革にし、単位PT  
Aが楽しく活動できるよ  
うに努めたいと思います。  
教育現場におきまして  
は、「教員の働き方改革」  
が唄われておりますが、  
制度が確立するまでには  
時間を要します。つきま  
しては、各单位PTAに  
おいて地域と連携し、子  
ども達の環境が良くなる  
ことは、進んで実践して  
頂けたら、子ども達にと  
って一番良いことだと思  
います。

沖縄県PTA連合会は、  
創立して今年で70周年  
を迎えます。設立からの  
沿革を見ておきますと、  
先輩の方々が実施され  
た行事等を絶やすことが  
ないように努めます。  
来年の1月末には、県

PTA研究大会中頭大会  
が開催されます。今大会  
は、県PTA創立70周年の  
記念大会でもあり、色々  
なイベントも併せて実施  
します。中頭地区の方々が  
大会成功のため奮闘して  
いることと思います。参  
加する他の地区P会員は、  
単なるお客さんにならず、  
主体的に参加し、大会を  
盛り上げ、学んで得られ  
るお土産をたくさん持ち  
帰ってほしいと思います。  
今年も会員の皆様にと  
ってより良い年でありま  
すよう祈念して新年のご  
挨拶とします。



来年1月開催の県PTA研究大会をPRする中頭地区の会員



# 第68回 沖縄県小中学校童話・お話・意見発表大会

## 島尻大会 審査講評

(小学校・低学年・男子  
豊城小学校)

### 1. 内 容

・学年にふさわしい題材が多く取り入れられていたが、中には落語的なものがあり、「どうかな？」というものもあった。

### 2. 音 声

・皆、声が大きく良かった。  
・お話を自分のものにして、語る様に発表していたのが良かった。  
・言葉に表情があり、良かった。

・語尾が聞き取れない部分があった。

・言葉が速くて、聞き取りにくい部分もあった。

### 3. 態 度

・堂々と自信をもって発表していた。

・顔の表情が良かった。

・ジェスチャーがオーバーになる子もいた。自然体で話をした方がよい。

・上手、下手がはっきりしないところがあった。

・間の取り方をもっと工夫したら効果的だと思う。



小低・男子最優秀賞

(小学校・低学年・女子  
ゆたか小学校)

### 1. 内 容

・どの内容も素晴らしく、人物、情景が伝わった。

・言葉が早くなり、聞き取りにくい場面もあった。

### 3. 態 度

・顔の向きや表情を工夫して、内容を伝えようとしている。

・言葉一つ一つに動作をつけたり、向きを大きく変えたりすることによって、声や内容が伝わりにくい場面もあった。

・お話(童話)の内容をよく読み取り、声(音量や声色等)を工夫して伝えることが出来る様になるとよい。

・制限時間の中でお話の内容をよく伝えるものであった。

・ウチナーグチの内容もあったが、発表者はよく練習して発表できていた。

・内容が発表者の学年に対して幼い(?)ものもあるのではないかな?

2. 音 声

・登場人物によって声の変化(強弱・高低・緩急)の工夫がなされ、聞き手によく伝わった。

・音量が聞き手にしっかりと届く大きくて気持ちが伝わった。

・自分の長所や課題を明確

1. 内 容

・題材が自然や世界平和、家族など広がりがあった。

・自然の体験を周りの人との関わりを通して、整然とまとめてあった。



小低・女子最優秀賞

(小学校・高学年・男子  
糸満小学校)

にしつつ、「こうなりたい」とする夢に向かう力を感じさせてくれた。

・文章をフツフツと切りすぎて、主題を捉えづらくさせる発表もあった。

2. 音 声

・声が大きく、強弱をつけ、山場を上手に表現していた。

・間を効果的にとる工夫をした発表があった。

・すべての語尾を上げるので、聞き取りやすかった。

3. 態 度

・服装が清潔で感じがよい。

・すべての児童が上履きで登壇していた。

・ジェスチャーは概ね適度だが、向きの変更がまだ大きすぎる子があった。

・「大きなく」の際、手を大きく広げるが、言語で十分表現できるはずだ。

・敬体、常体の使い方、言葉の意味理解とそれを表現する手法を工夫する。

・聞き手意識が弱い代表者

・所要時間をオーバーする代表者が6名いた。



第68回 沖縄県小中学校童話・お話大会  
主催 (一社) 沖縄県 PTA 連合会

(小学校・高学年・女子  
糸満小学校)

### 1. 内 容

・所要時間をオーバーする代表者が6名いた。

・音声表現での伝え方に工夫があるかをポイントに審査を行っているので、音声表現を工夫する。

・会話とジェスチャーとの整合性を図る。

・意見文が多かったため、次回から応募要項を周知する。

・敬体、常体の使い方、言葉の意味理解とそれを表現する手法を工夫する。

・聞き手意識が弱い代表者

・所要時間をオーバーする代表者が6名いた。





- が若干名おり、工夫が必要であった。
2. 音 声
- ・ 声音が張り上げすぎるか、一本調子、声をのむ等が多く、声の変化に工夫が必要。
  - ・ 口形がはっきりせず、こもり気味であった。
  - ・ 間の取り方に工夫が必要。
  - ・ アクセント、強弱を無理なく、自然体で伝えられるように工夫する。
3. 態 度
- ・ 体を前後にゆする言い方は一考する。感情表現のバランスを考える。
  - ・ 始めのあいさつの仕方、大人の接遇(胸元で手を組む)のお辞儀は一考。



中学・男子最優秀賞

- (中学校・男子 潮平中学校)
1. 内 容
- ・ 聞き手に興味を抱かせるような文題(テーマ)の工夫が多くあった。
  - ・ 家庭生活という身近な体験に焦点を当て、自分の訴えたい意見に結びつけた内容が多かった。
  - ・ 学校生活、社会生活などの体験から中学生らしい意見を引き出し、分かりやすい言葉で発表していた。



小高・女子最優秀賞

2. 音 声
- ・ 聞き取りやすい落ち着いた声で発表していた。
  - ・ 発表の内容に応じて、声の表情、大きさ、マイクの使い方を工夫する必要がある発表者がいた。
3. 態 度
- ・ 原稿をしっかりと覚えていないために、自信のない発表があった。
  - ・ 発表の内容によって視線、しぐさに工夫を凝らしている発表者があった。

- (中学校・女子 兼城中学校)
1. 内 容
- ・ 毎日の生活や学校生活の中から題材を見つけて、自



2. 音 声
- ・ 聞き取りやすい落ち着いた声で発表していた。
  - ・ 発表の内容に応じて、声の表情、大きさ、マイクの使い方を工夫する必要がある発表者がいた。
3. 態 度
- ・ 原稿をしっかりと覚えていないために、自信のない発表があった。
  - ・ 発表の内容によって視線、しぐさに工夫を凝らしている発表者があった。

3. 態 度
- ・ 全体的に良かった。
  - ・ 全体的に良かった。

2. 音 声
- ・ 明瞭な発音、声のトーン等、意識して発表していた。
  - ・ 全体的に良かった。
  - ・ 全体的に良かった。
3. 態 度
- ・ 全体的に良かった。
  - ・ 全体的に良かった。



中学・女子最優秀賞



### 平成29年度 第68回沖縄県童話・お話・意見発表大会 島尻大会(12/8開催) 審査結果

|                  |       | 地 区  | 学校名  | 学 年 | 氏 名    | 演 題            |
|------------------|-------|------|------|-----|--------|----------------|
| 最<br>優<br>秀<br>賞 | 小低・男子 | 那覇地区 | 真地小  | 2   | 新垣 蒼眞  | まさりと赤鬼         |
|                  | 小低・女子 | 中頭地区 | 屋良小  | 3   | 花城 柚妃  | 自然の叫び          |
|                  | 小高・男子 | 那覇地区 | 石嶺小  | 5   | 安座間 岳  | ウチナーンチュ魂       |
|                  | 小高・女子 | 中頭地区 | 美東小  | 4   | 中石 優杏奈 | 生きてる事ってありがたい   |
|                  | 中学・男子 | 中頭地区 | 宮里中  | 3   | 仲宗根 皐乃 | 意見を伝えて未来を変えよう  |
|                  | 中学・女子 | 島尻地区 | 東風平中 | 3   | 淵上 佳奈  | いじめのなくなる日を目指して |



# 第59回 沖縄県PTA研究大会 国頭大会

「育てよう今を！見守ろう今を！すべては子どもたちのために」  
 つながろう つなげよう 緑豊かなやんばるの地で」



名護桜太鼓によるアトラクションで全体会が幕開け

## 全体会

県PTA広報委員 新垣早苗

「名護桜太鼓」による勇壮で愛らしいアトラクションにはじまり、沖縄県小中学校意見発表大会（県P主催）において最優秀賞に輝いた2名の中学生による意見発表、「ハルサーミュージシャン アイモコ」による記念講演、功労者表彰式等が行われました。「耕せ未来！」の演題で行われたアイモコによる記念講演は、歌あり笑いあり涙ありの内容で、事後アンケートにおいて「愛あるアイモコさんの講演、大変癒されました」「失敗談から今あること、ハルサー（畑仕事）から学ぶ、作物を育てることと子（人間）育ては通じるものがありPTA研究大会にふさわしい講演でした」等の

声が寄せられ好評でした。

また、今大会より時間短縮を目指しての表彰方法を変更する試みがあり、会の運営の工夫が見られました。他方、会員からの要望により前大会から実施している入賞広報紙の全体会会場における展示では、「展示広報紙が紛失する」事態が発生し課題を残しました。次年度の県P研究大会は中頭地区が主管で開催される予定で、県P70周年記念及び研究大会60回を記念する大会となります。中頭地区会長の濱比嘉氏のかげ声にも象徴されるように例年とは何かが違う「愛」あふれる大会になるのではと期待され、楽しみです。



アイモコによる記念講演

## 分科会参加報告

### 第1分科会

伊良波小学校PTA

副会長 大城奈月

私は「PTA活動を活発にするための組織・運営を考えよう」についての分科会に参加しました。

実践発表では、宮古島市立北小学校と名護市立久辺中学校での、活発な活動報告がありました。1. PTAとは、P（ぼつと集まり）T（楽しく）A（明るく）活動すること。2. 学校の規模や環境に応じて、魅力ある行事やニーズにあった学び合い活動を仕掛けること。3. できる人が、できる時に、できる事をする。

『子供のために、親も楽しみなから学ぶ』できる事を一歩ずつ始め、仲間を増やしていく。意見として、連絡手段は、グループLINEを活用して調整できたり、PTA活動のPRにSNSを利用していきたい。など

がありました。また今後は、

地域と共にある学校「コミュニティースクール」が増える傾向にあり、さらに地域と連携し、子ども達のために活動できるよう、先生方と保護者が協力できる組織づくりを目指したいと感じました。



第1分科会のオープニングアトラクション

### 第2分科会

室川小学校PTA

総務委員長 眞榮城健二

私は「健全育成と地域連携」の分科会に参加しました。本会では、青少年の健全育成とPTAと地域間における連携の必要性につい





第2分科会の舞台上の横断幕

て、地域の学校へ小規模校でも可能性は無限大。東村立高江小学校PTA会長森岡尚子氏、安全で心身ともに健全な子どもを育てるPTA活動を考えよう。子どももの健全育成のためのPTA活動と地域連携の必要性を考える。宜野湾市立真志喜中学校PTA会長嘉味田朝紀氏のお二人の発表がありました。

力・共有の大切さについて、嘉味田氏は「地域自治会の方々や、PTA役員OBからの誘いで共に歩み寄ることと連携が生まれ、行事等への参加・協力することにつながれる大切さについて」提言していました。

お二人のお話を聞くと、一つの共通点があると思います。一人ではできない事も、共有し、共感し、共に知恵を絞って情報を広げると『人と人とのつながりが返ってくる』ことです。

私は、たまたま父や母がPTA活動や地域活動に関わっていたことで、幼い頃から様々な行事に参加する機会があり、高校3年から関わった青年会では、青年会長を務めさせていただきました。地域のボランティア活動や学校行事、自治会行事に参加することを教えてくれたことが、今も関わっていることにつながっていると実感しています。

「できる時にできるだけ」

よ」「ありがとう」「一緒に考えよう」「来週の行事一緒に参加できそう?」

声かけは決して待つだけではなく、お互い勇気を一歩踏み出すことだそうです。

今回の分科会で学んだことを通して、何か困ったことで相談したい、協力をお願いしたい、参加したい等様々な場面に直面した時は、『共に手を携えて支え合い、助け合い、つなげていきたい』と思います。



休憩時間の様子

### 第3分科会

#### 八重瀬町PTA連合会

##### 会長 久手堅恵明

私は、「家庭教育」について学びました。

討議題は、『心豊かなたぐましい子どもを育てる家庭教育を考えよう』2校の発表がありました。特に北谷小学校PTAの基本的な生活習慣(早寝早起朝ごはん)を身につける為の親の役割についての発表が気に入りました。

年度上旬にPTA会長さん自ら保護者へ取り組みの説明・周知をし、早寝に関する実態調査、アンケートを行う、その後、保護者と高学年児童へ睡眠についての講演会にて、睡眠の重要性を学ぶ。実態調査のアンケート内容を集計結果・考察し保護者へ提案(5つの提案)をする。提案内容は、すぐく簡単な事で、「夕飯時はテレビを消す・宿題に取りかかる時間を早める・早めにTV等を消し、就寝の環境を整える」等、全て保護者の声かけが必要な事です。その提案内容を各学年、一家族ずつモニタリング(一週間限定)をし、さ

らに結果を発表するというほぼ年間を通して根気のいる作業で、PTA会長さんが保護者へ伝いたい気持ち、結果が凄く伝わりました。結果、大事なのは家庭教育とは、全てにおいて基本となり、我々大人が子どもの手本となり、子どもと対話をする家庭教育が大事なんだと改めて感じました。この内容を町P連・単Pに持ち帰り、今後のPTA活動へ生かしていきたいと思っています。



北谷小学校PTAによる実践発表

### 第4分科会

#### 八重山地区PTA連合会

##### 広報委員長 鬚川美穂

私は、「教育問題」の分科会に参加し、【児童・生徒の学力の向上と魅力ある

学校づくりを考えよう」というテーマのもと、PTAとして、どう関わればよいか。考えさせられました。どう関わればよいか...、これからの時代に必要とされる資質と能力を育てるために学習習慣、生活習慣を身につけ生きる力を育む。そのためには学校と家庭が連携し、学力の向上に充実した家庭学習の定着、魅力ある学校づくりには地域と連携し、地域の伝統行事に親と子ども達が積極的に参加することにより、生きていくための知識や、技能が自然と身につく。など。

心豊かな子ども達を育てよう。できる時にできる事を楽しみながら参加しよう!という両校の聞いて、私自身も子どものために、そして、子ども達が21世紀を生きていくために心豊かに逞しく育っていくよう、積極的に協力していけるよう、少し反省しながらの研修会を終えてきました。



## 第5分科会

## 真嘉比小学校PTA

## 副会長 大里朝之

「官野座小学校にて「広報」の分科会が行われました。」

分科会では、琉球新報社関戸塩さんの講演、今年度広報紙コンクールで最優秀賞の真嘉比小学校、糸満中学校の方からの発表がありました。

関戸さんの講演では、同じ記事の内容でも、見出し、レイアウトなどの見せ方でより分かりやすく表現できる方法などがとても参考になりました。

真嘉比小学校の発表では、



第4分科会の会場の様子

インパクトのある表紙や、「楽しく、負担なく、親しみやすい」広報紙作りのノウハウの紹介が印象に残り、糸満中学校の発表では、学校にある様々な問題や関心事について、上手く記事として載せている点が印象に残りました。

討議では、各学校が抱えていること、特に広報部員になりたい人がいない点や、記事のマネリ化を変えていく点など、活発で内容ある討議が展開されました。

これからも学校・保護者・地域をつなぎ、「子ども達が読みたくなる」広報紙づくりが大切だと改めて感じました。



会場内に広報誌コンクール入賞作品を展示

## 特別分科会1

## 壺屋小学校PTCA

## 副会長 野津利奈

「人権」という大きなテーマを、コーディネーターの高宮城さんが、会場参加者の共通理解ということでも子ども達を例に取り上げ、『安心・安全な社会・子ども達に自信がある』が揃って人権は守られるという説明がありました。

安心・安全な社会とはどんな社会か？突き詰めていくと、『挨拶が出来る社会』というキーワードに辿り着きました。朝、家庭で挨拶。学校への道すがら近所へ挨拶。学校付近の横断歩道の立哨当番や民生委員さんへ挨拶。家庭や学校だけが挨拶をする場ではなく、挨拶を当たり前にすることで近所さんが分かり、立哨している民生委員さんや保護者が分かり、家庭・学校・地域がつながる社会になります。そこそが安心・安全な社会だと思います。



特別分科会1「人権」シンポジウム

当たり前に挨拶のある日常というと、簡単なことだと思いますが、知らない人とは話してはいけなさと教えられる現代の子ども達にとって、たかが挨拶とも言えないように思います。家庭内でも共働きで朝の挨拶すら出来ない場合もあるかと思えます。スマホやネットの増加による人間関係の希薄さが問題視される中、社会という小さな社会が寄り集まってできています。だからこそ、家庭からの挨拶「おはよう」や「ありがとう」、「ただいま」、「おかえり」を自然に声に出して言える環境こそ重要だと思います。

思います。家庭・学校・地域で挨拶が出来て顔の見える環境が、安心・安全な社会へ人権を守ることにつながり、まずは、一人ひとりの「おはよう」を大切にしていきたいと思いました。

## 特別分科会2

## 松田小学校PTA

## 会長 賞眞修

テーマは「食育」、官野座村文化センターがらまんホールで行われました。

官野座村の志良堂教育長による歓迎の言葉と、松田夢宝太鼓の子ども達による創作エイサーのアトラクションに始まり、基調講演と事例発表、シンポジウムが行われました。

基調講演では、本県の児童生徒の健康状態を沖縄県教育庁保健体育課の大田指導主事に紹介頂き、生活リズムと食事バランスの大切さを改めて実感しました。特に、成長期にある子ども達の欠食は成長に大きな支障をきたすものであり、朝



特別分科会2「食育」シンポジウム

食は必ず摂取させて登校させることを共有していきたいです。

事例発表の座間味小中学校、池間小中学校の話では、生きていく力をつける「食育」を実践しているように思いました。学校、PTA、地域が連携して取り組んでいるのを見て、子ども達が成長し、さらには地元に戻り次ぎの世代に繋げられる取り組みとして我々の地域でも地産地消等「食」を考えることの出来る取り組みをしていきたいと考えました。シンポジウムでも活発な意見交換があり、とても有意義な時間でした。



文部科学大臣表彰

◆ 団体の部 石垣市立石垣小学校PTA、那覇市立曙小学校PTCA

日本PTA全国協議会表彰

◆ 個人の部 長山 勝美（沖縄県PTA連合会前副会長）

中村 絹江（宜野湾市PTA連合会元会長）、狩俣 勝成（宮古地区PTA連合会元会長）

◆ 団体の部 名護市立屋部中学校PTA、那覇市立さつき小学校PTA

九州ブロックPTA協議会表彰

◆ 個人の部 具志堅 勉（国頭地区PTA連合会前会長）

星野 文彦（中頭地区PTA連合会元会長）、島尻 賢一（沖縄市PTA連合会元副会長）

樋口 泰子（那覇市PTA連合会前副会長）、金城 達功（島尻地区PTA連合会前会長）

新川 清孝（八重山地区PTA連合会前副会長）

◆ 団体の部 名護市立大北小学校PTA、那覇市立銘川小学校PTCA、那覇市立松島中学校PTA

木もれ陽

地域連携で育む「わったー宝」

校区自治会公民館において、一際大きな笑い声が響きます。ここでは、子ども達と地域の長寿会の皆さんとの交流会が行われています。2年生の生活科の一環で、「地域とのふれあい交流の」コマで地域探検を終えた子ども達がお世話になった地域の方々に感謝の気持ちを伝える交流会です。



予め話し合い、プログラムや役割分担等をして当日に臨みました。「うちなーぐち」の始めの挨拶から歌やエイサー等の多彩なプログラムの中にも、子ども達によるマッサーシサービスには、

「とても気持ちよくて長生きできるさー」「孫がきたみたいよー」等長寿会の皆様も大喜びで楽しいひと時を過ごしていました。このように、本校では地域連携や地域教育資源を

サ取り、黒糖づくり、地域の自慢まいい、戦争体験者への聞き取り等を通して、児童は地元地域のすばらしさに気づき、地域の「ひと、もの、こと」を大切な「宝物」として誇りを持てるよう体験をしています。それができるのも地域の大きな協力のおかげであり、併せて児童が地域の方々に「元氣パワー」を分け与える「双方向の交流」が地域連携を充実・発展させているので、地域力に感謝し、学校と地域の笑顔作りにより、これからも努めていきたいと思えます。

港川小学校  
校長 銘苅健

我が家の子育て

子どもに感謝

平成8年に元気な双子の女の子が生まれまして。その日から生活が、がらりと変わり毎日がてんやわんや、嬉しい悲鳴です。我が家は上が双子の女の子、その下に男の子3人の7人家族。

私達夫婦は、子ども達に自分の事は自分でできる様になって欲しいという思いがあり、子ども達のしつけについて何度となく話し合ったのを覚えています。



子ども達が5歳の頃から家事をさせました。最初は、洗濯物たたみから始め、部屋の掃除や子ども達ができる事は子ども達にさせ、失敗して

と云うようになりました。双子の娘達は、小学校4年生になると料理に興味もち始め、台所でお母さんと一緒に夕飯を作ったりしました。そして、私がPTAの会長をや

も怒らず、やり終えると「ありがと」の言葉をかけます。私の奥さんは、何かしてもらったと必ず「ありがとね」と言っているので、子ども達も自然に「ありがと」

長男と次男は学級委員長に立候補したり、三男は童話お話大会に挑戦したりと、親の真似をしてる様に思えてとても嬉しい気持ちになりました。私は、PTA活動を通して子育てについてよく考えます。子どもは、親の背中を見て育つといいですが、親が一生懸命頑張る事が、子ども達にとって良い教育になるのではないかと。これからも、すすくと育っていく子ども達と一緒に頑張っていきたいと思っています。

島尻地区  
PTA連合会  
会長 島崎朋広



## 第25回

## 我が校区の文化・歴史遺産紹介

## 戦後の芸能と嘉手納

嘉手納町は戦前から芸能が盛んで、戦後の復興期に県内で活躍した彼ら4人の偉人は嘉手納出身者である。



幸地亀千代は、戦争になり消失してしまつた工工四を再刊する為、恩師である世礼国男、兄弟弟子である西島宗次郎らと「声楽附工十四」を完成させ、昭和23年7月に復活した「野村流音楽協会」の初代副会長、昭和38年には会長となりました。



奥間盛正

奥間盛正は、戦後のラジオ（琉球放送）を中心に古典音楽の復興に力を注ぎ、昭和41年に「野村流古典音楽保存会」の副会長に就任しました。

小那覇舞天は、本名を小那覇全孝といい、戦前の嘉手納大通りで歯科医を営ん

でいました。戦後、石川難民収容所で肉親を失い、希望を失った人々に「ヌチヌスー ジサビラ（命のお祝い）をしましょう」と声をかけ、字嘉手納大通り出身の弟子、照屋林助を伴い、戦後の復興期に県民の大きな力となり、ブーテンや沖繩のチャップリンの愛称で、多くの県民に親しまれました。

現在、嘉手納町では、慰霊の日のある6月に、BIG IN

主催の「うたの日コンサート」が開催されています。BIG INのボーカル比嘉榮昇さんは、うたの日コンサートでこう呼びかけます。

「ヌチヌ スー ジサビラ」と。

戦後の沖繩の芸能を支えた嘉手納の偉人達。



小那覇舞天

音楽の芽は、今も嘉手納町で咲き続いています。

嘉手納町  
PTA連合会  
事務局 石嶺利和



## 第23回

## 裏方一番



## 「読み聞かせボランティア ひだまりの会」

長嶺中学校では、毎週月曜日の朝8時25分～40分まで授業が始まる前の15分間「本の読み聞かせ」が行なわれています。平成15年に、当時

の校長先生が「学校で読み聞かせをして欲しい」と市の教育委員会へ依頼したのがきっかけで、市社協の音訳グループに在籍していた嘉数さんを始め4名と、1年生の6クラスに足りないの、読書研究会から名前を誘って計6名で読み聞かせボランティアを開けました。当初は団体名もないまま、

クラスの決めて1年間担当していました。翌年には正式メンバーも決まり、名前も「ひだまりの会」に決定しました。初めの1年間は、何人かは話を聞いていたが、殆どの生徒は聞いていないことが多く、試行錯誤の年だったそうです。毎週月曜日に読み聞かせをすることで、生徒達と顔見知りになり、交流を深めることが出来て、今に至っているとのこと。



ひだまりの会メンバーと平良教頭(後列中央)

学校以外の場所でも声を掛けてくれたり、当時は全く聞いていなかった生徒からは「あの時はごめんなさい」と謝られたこともあるそうです。

「毎週、読み聞かせをするのが楽しみで学校に来ています。読み聞かせを通して生徒達との交流をもっともっと深めていきたいと思っています。」

これまでの活動が称えられ、読書を精通する活動が優秀であると、読書活動優秀実践校として、今年度、沖縄県教育長表彰を受けました。

これからも、読み聞かせを通して生徒達との交流をもっともっと深めていきたいと思っています。

長嶺中学校PTA  
生き生き委員長  
新垣あき子



## 理事会報告

### 第7回 理事会

平成29年12月15日(金) 県P会館にて開催 【定数：26人中 出席（19人）委任（7人）】

#### 1. 協議事項

- (1) 第59回沖縄県P T A研究大会国頭大会
- (2) スマホおきなわルールづくり
- (3) 第68回沖縄県童話お話意見発表大会  
島尻大会反省
- (4) その他

#### ・家庭教育

- ①2/10の食育バスツアーについて
- ②家～なれ～運動、親子の水曜日の実態  
把握をもとに推進する
- ③メディア・ノーテレビ・読書の日の  
啓発活動を推進する

#### ・調査研究

「子どもの実態調査」を行う

#### ・健全育成

「夜9時までには帰りましょう運動」の  
ポスターを増刷し、飲食店等に貼って  
もらう取り組みを行う

#### 2. 報告事項

- (1) 常置委員会より

##### ・総務

- ①これからの童話お話意見発表会に  
ついてアンケート調査を行う
- ②次年度の県P 70周年事業に向けて  
の取り組みを進める

- (2) 第6回理事会議事録

- (3) その他

## P T A 会長さんへ

### 安全委員会より

次年度(平成30年度)の「安全会共済加入の手続き」が始まります。

※ご案内・申請書類・平成30年度版「安全会制度のしおり」は  
3月上旬に送付予定

○共済契約申込書(様式1) → 3/31までに必着！

○共済金の納入

○名簿等必要書類の提出

4/1～6/30まで【期限厳守】

※上記について提出期限が過ぎた場合、4月1日から共済掛金が  
払い込まれた日までの間に発生した事故に対しての共済金は、  
お支払い出来ません。(共済規定一事業方法書第7条)



(一社) 沖縄県P T A 連合会  
安全委員会

〒900-0002  
那覇市曙2-26-27  
TEL (098) 867-8645  
FAX (098) 867-0309

## 編集後記

あっという間に2017年が終わり、2018年に突入しました。平成30年度がスタートする戌年は、  
本会も大きな事業が待っています。

家庭・学校・地域が一つになり、大事な宝(子ども)を育てていける仕組み作りを行っていき  
よう頑張っていきたいと新年の抱負の一つに掲げました。小さな力をたくさん集めると大きな  
力になります。一人ひとりの意識で環境は変わります。私自身、ラスト3年のPTA活動です。PTA  
活動を通して学んできた事を、多くの皆さんに共有できるよう活動していきます！

県P広報委員になって2年、県全体の記事を見ていると凄く勉強になります。記事を真っ先に  
見る事ができるなんて広報委員の醍醐味ですね♪「広報委員やっててよかった～」と毎回感じ  
させてくれる県P広報紙作りは楽しくて仕方ありません♪興味がある方はぜひご一報くださ  
いませ～お待ちしております！本年もどうぞよろしくお願いいたします♪(奥間由紀江)

広報委員：末吉建作(那覇) 新垣早苗(中頭) 奥間由紀江(中頭) 外間隆史(島尻)  
通信委員：仲間里枝(国頭) 伊波孝子(宮古) 鬚川美穂(八重山)